

2019 年度 日本小児耳鼻咽喉科学会 評議員会議事録

日時:2019 年 5 月 22 日 (水) 16 時 30 分~17 時 30 分

場所:福岡国際会議場 4 階 会議室 409・410

出席者:内藤健晴(理事長)、今井丈英、小川 郁、香取幸夫、黒野祐一、齋藤康一郎、鈴鹿有子、竹内万彦、武田憲昭、土井勝美、仲野敦子、二藤隆春、兵頭政光、益田 慎、三輪高喜、吉川 衛(理事)、後藤友佳子(監事)、朝子幹也、安達のどか、伊藤真人、井上真規、井口郁雄、井脇貴子、大津雅秀、奥中美恵子、小林一女、近藤康人、阪本浩一、柴田修明、杉内智子、鈴木雅明、高瀬真人、工 穰、千田いづみ、長井今日子、中川尚志、中田誠一、中野友明、任 智美、馬場信太郎、林 達哉、原浩貴、日高浩史、深美 悟、保富宗城、増田佐和子、望月博之、守本倫子、安井拓也、横山純吉、吉原重美(評議員)、市村恵一、川城信子(顧問)、大賀正一(副会長)、澤津橋基広(年次幹事)、小森正博(次期年次幹事)、有本友季子、香山智佳子、小森 学(幹事)、早坂駿吾、中西秀彦(事務局)(50 音順, 敬称略)

内藤健晴理事長挨拶

本評議員会は出席者と委任状で定足数を満たしていることが報告された。議事録署名人に原評議員と吉原評議員が指名された。初めに中川尚志会長への謝辞が述べられた。

中川尚志会長挨拶

第 14 回日本小児耳鼻咽喉科学会を開催するにあたっての協力・支援に対する謝意が述べられた。

I. 報告事項

1. 2018 年度事業報告(仲野理事)

1. 第 13 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2018 年 7 月 12 日~7 月 13 日の 2 日間、横浜市において東海大学小児科 望月博之会長のもとに開催した。
2. 第 14 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2019 年に九州大学耳鼻咽喉科 中川尚志会長のもと開催に向け準備をした。

3. 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第 39 巻 2 号、3 号および第 40 巻 1 号を刊行した。
4. 理事会および評議員会を 2018 年 7 月 11 日に開催した。
5. 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。
6. 小児期外科系関連学会協議会に出席し、日本小児連絡協議会の活動に委員として協力した。
7. 小児急性中耳炎診療ガイドラインの改訂、小児滲出性中耳炎診療ガイドラインの改訂に委員として協力した。
8. 会員名簿情報の収集、把握に努めた。
9. その他学会活動を行った。
10. 日本小児耳鼻咽喉科学会 会員数 2019 年 4 月 30 日現在

正会員	1232 名
購読会員	13 名
寄贈会員	3 名
1248 名	

(入会者数 128 名、退会者 81 名、物故者 4 名)

2. 学術誌編集(二藤理事)

学会誌 39 巻 2 号、3 号、40 巻 1 号を刊行したこと、故・古賀慶次郎名誉会員の追悼文を掲載したこと、広告掲載企業の状況が、それぞれ報告された。

3. 学術(国際)(小川理事)

KSPPO(韓国小児耳鼻咽喉科学会)から当学会のメンバーを学術集会に招待したい旨の申し出が中川会長(第 14 回)宛にあった。本来は今年(2019 年)の開催であったが来年(2020 年)に延期になったため詳細が決まりしだい KSPPO から連絡があることが報告された。

2019 年 4 月 7 日～10 日に第 1 回 World Congress of Pediatric Otorhinolaryngology がブエノスアイレスで開催され、日本から 4 名の先生方が参加されたことが報告された。

ESPO(欧州小児耳鼻咽喉科学会)について、2020 年にマルセイユ、2022 年にリバプールでそれぞれ開催されることが報告された。

当学会に関連する国際学会の情報を日本耳鼻咽喉科学会に提供することが報告された。

4. その他

4-1. メール審議報告(内藤理事長)

前回理事会(2018年7月11日開催)以降のメール審議の内容が報告された。

4-2. 日本耳鼻咽喉科学会・関連する学会会議報告(内藤理事長)

日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、日本耳鼻咽喉科学会・専門医講習会について、各学会からプログラム案を推薦して提案していただきたい旨のご依頼をいただいております。当学会では武田理事との相談の上、対応を進めることが報告された。

4-3. 一般の方からの当学会への医療施設紹介に関する問い合わせの件について(内藤理事長)

当学会では個別の医院等の紹介を行っていないため、お断りしたことが報告された。

4-4. 住所不明者の扱いの件(仲野理事)

学会誌を郵送して返送されてきた住所不明者について、可能な限り旧所属先などを通じて連絡を取り、会員資格を継続されるか否かの確認を行っている。連絡が取れない住所不明者については、学会誌を送り続けることはせず、その後3年間会費未納入であった場合に会則に従い理事会の議を経て退会の手続きを取るということが、土井理事との相談の上、決められたことが報告された。

4-5. 第15回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(兵頭次期会長)

第15回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況の報告がなされた。2020年7月2日～3日に三翠園(高知市)で開催されること、副会長が高知大学小児科の藤枝幹也教授であることが報告された。

4-6. 第16回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(土井次々期会長)

第16回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況の報告がなされた。2021年7月8日～9日に大阪国際会議場(大阪市)で開催されることが報告された。

Ⅱ. 審議事項

1. 2018 年度決算報告(土井理事)

2018 年度日本小児耳鼻咽喉科学会決算(2018 年 5 月 1 日～2019 年 4 月 30 日)および資産が報告され、承認された。

2. 会計監査報告(後藤監事)

日本小児耳鼻咽喉科学会 2018 年度決算書類を監査した結果、適正であることが報告され、承認された。

3. 2019 年度事業計画(案)(仲野理事)

1. 第 14 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2019 年 5 月 23 日～5 月 24 日の 2 日間、福岡市において九州大学耳鼻咽喉科 中川尚志会長のもとに開催する。
2. 第 15 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2020 年に高知大学耳鼻咽喉科 兵頭政光会長のもと開催に向け準備する。
3. 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第 40 巻 2 号、3 号を刊行する。
4. 理事会および評議員会を 2019 年 5 月 22 日に開催する。
5. その他学会活動を行う。

以上、審議され、承認された。

4. 2019 年度予算(案)(土井理事)

2019 年度日本小児耳鼻咽喉科学会予算(2019 年 5 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)について審議され、承認された。

5. 評議員の推薦(仲野理事)

評議員として以下の 1 名が推薦され、承認された。

樫尾明憲先生(東京大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)。

6. 年次幹事の推薦(仲野理事)

高知大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科の小森正博先生が推薦され承認された。

7. 会計年度の会則改定の件(兵頭理事)

会則第 23 条 1.の会計年度の規定について、「本会の会計年度は 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする」に改定し、その経過措置として、2019 年度の会計年度は 2019 年 5 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日までとすることが提案され、承認された。

8. 「小児在宅医療実技講習会マニュアル」の会員周知の件(益田理事)

会員周知用で「小児在宅医療実技講習会マニュアル」を日本小児科学会から提供されたが、現状、当学会では広く広報する手段がない。日本小児科学会のホームページで設けられている会員専用ページのようなページを当学会でも設けることが提案され、承認された。なお、本件に関わる支出として約 17 万円が必要とされ、2019 年度予算の予備費から支出することで承認された。

9. 小児耳鼻咽喉科学会 COI 規定の改正の件(兵頭理事)

COI 開示の対象を過去 1 年間から過去 3 年間に広げること、開示の対象者を筆頭演者(筆頭著者)のみから共同演者(共同著者)に広げること、役員・委員会委員については開示の対象をご本人のみから配偶者、一親等内の親族・配偶者、収入財産的利益を共有する者に広げること、研究費、奨学寄附金の開示の対象を 200 万円以上から 100 万円以上に変更することを骨子とする「日本小児耳鼻咽喉科学会の利益相反に関する指針」の改定案が提案され、承認された。

10. 小児の閉塞性睡眠時無呼吸の調査の件(代. 今井理事)

当学会でワーキンググループを立ち上げた上で、日本小児呼吸器疾患学会と合同で、小児の閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)に対する我が国における診療内容に関する実態調査を行うことが提案され、承認された。

11. 選挙管理委員会発足について(内藤理事長)

会則細則に基づき、有本幹事、小森幹事、香山幹事の 3 名が推薦され、承認された。

12. APOG の件について(内藤理事長)

2023 年の APOG の日本開催の打診があることが報告された。2019 年はバンコクで 10 月 10 日・11 日に開催されるが、そこで正式に開催地が決まる。日本開催が決定された場合、中川尚志先生(九州大学耳鼻咽喉科)が会長として開催の予定である。中川先生が APOG の会長として日本で開催するにあたり、日本小児耳鼻咽喉科学会は経済的支援を伴わない後援として協力することが承認された。

13. 第 17 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会長・副会長推薦(内藤理事長)

第 17 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会長に富山大学小児科の足立雄一教授、副会長に富山大学耳鼻咽喉科の將積日出夫教授がそれぞれ推薦され承認された。

以上

理事長:内藤健晴

庶務担当:仲野敦子

庶務アドバイザー:守本倫子

幹事:有本友季子

小森 学

(文責)香山智佳子